

学校だより

翔 空

No.20 平成24年9月3日(月)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来

校舎のシンボル壁画である「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え、限りない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

◇ 生徒は、精一杯頑張っています！

夏休みから先週にかけて多くの行事が催され、喜久田中の生徒の活躍が多く目立ちました。

○ 8月18日〔土〕サマーフェスティバル in きくた 吹奏楽部のみなさん！

素晴らしい演奏で、地域の方々を大いになごませてくれました。あれだけ多くの曲をよく夏休み中に覚えられましたね。とても感心しました。

○ 8月26日〔日〕喜久田地区運動会 ボランティアの生徒のみなさん！

地域の行事に協力することの大切さは普段から先生方にお話ししていただいておりますが、今回、地区対抗運動会に、本校からも十数名の生徒が積極的に参加してくれました。受付、放送、道具係等々で活躍している姿を見て、さらに多くの中学生がこういった地元の行事に参加してくれるとよいなあと感じました。

○ 8月30日〔木〕郡山市英語弁論大会

暗誦の部：2年 千坂 奈々さん 8位入賞(29人中)
創作の部：3年 森岡 七彩さん 参加奨励賞(26人)

2人とも練習を休まずよく頑張りました。たぶん、参加するまでに数百回の練習を積んだはずですが、入賞することも大切ですが、何よりも、今回の練習の積み重ねがいつかどこかで花開いてくれることを願っています。

表彰：バドミントン部 男子シングルス4部 優勝

木村 太星くん

女子ダブルス5部 第3位

佐藤 菜峰さん

鈴木南紗姫さん



サッカー部 ろうきん杯

(兼高円宮杯県中予選会) 第3位

毎日練習の積み重ねが結果となって表れましたね。今後、新人戦にも期待がふくらみます。

◎ PTAの活動も頑張っています！

7月22日〔日〕西ブロック球技大会

家庭バレーボール 優勝

ソフトボール 3位

混合バレーボール 善戦及ばず惜敗

当日よりも、大会に至るまでの練習会がとても充実していました。また、試合後の反省会も閉会宣言するの戸惑うほどの盛り上がりでした。

8月25日〔土〕西ブロック研修会

多くの教養委員の方に参加していただき、充実した意見交換がなされたものと思います。「子育ての難しさ」を改めて感じましたね。

9月9日〔日〕本校の資源回収日

いよいよ資源回収が迫って参りました。聞くところによると喜久田小は1学期末に、上伊豆島小は本校より1週間前に実施とのこと。中学校の分はしっかり取ってあるそうです。ご配慮に感謝いたします。

※ 翔空祭は、10月20日〔土〕に開催されます。(今から、バザーの準備、各委員会ごとの準備などお願いします。特に、この時期は行事が重なっており、ご迷惑をおかけします。カレンダーにマークを入れておいてください。)

◇ 8月31日〔金〕放射線理解講座が開かれました。

講師：東京工業大学特任准教授 大場 恭子先生

全校生対象：放射線に関するお話(50分)

3年生対象：放射線量測定などの実習(50分)

放射線を「正しく怖れる」ためにも、まずは知識・理解が必要です。3年生には、実験・測定を通して放射線について深く理解してもらいました。また、自分の体に外部被曝・内部被曝両方どの程度影響があるのか知る絶好の機会となりました。大場先生ご指導ありがとうございました。

【英語のことわざ】*真理を突いている珠玉の言葉*

「習うより慣れろ」とは、よく語学の世界で使われる表現ですが、語学に限らず習い事や仕事においてさえも大切な要素であると思います。一生身に付けたいと思うことは特に回数を重ねるのがポイント。実は、良い生活習慣も「慣れ」がきちんと身に付くまでが大変なのです。なぜ、それが必要なのか十分に理解させた上で、あとは何度もしつこく指導する。そうやって私たちの日本の文化や慣習が作り上げられてきていると思うのです。良い文化・慣習は、自然と身に付けさせたいですね。「いつの間にか繰り返し行っている間に覚えてしまっていた」のように。

→ "Practice makes perfect."

直訳：練習は完璧なものをつくりあげる。

意訳：『習うより慣れろ』

読み方：「プラクティス メイクス パーフェクト」

【大切な連絡】 ～生徒の安全確保のために～

7月に起きた行健小の校門付近での悲惨な児童の死亡事故。事故以降、「安全対策」の一環として、「裏門からの車による送迎」について、ケガや身体上の都合がない限り、敷地内への乗り入れを遠慮していただいております。何卒、ご理解・ご協力のほどお願い致します。



